

(5) 保健福祉行政全体への意見要望 (自由回答)

問33 . 保健福祉行政全体や今回の調査について、ご要望やご意見などありましたら、ご自由にお書きください。

保健福祉行政全体や今回の調査について、要望、意見を自由に書いてもらったところ、342 人から 498 件の回答があった。ここでは、その中から代表的な意見を掲載する。

< 保健福祉全般について > (66 件)

実際、介護にしても直接かかわってみないとわからない事が多い。介護ヘルパーを使用したいが高くて頼めず、家族が仕事を休んだりやめて世話をする場合、二重の負担になる。もっと親身になって考えてほしい。(女性 / 50 歳代)

横並び意識から脱し、先鋭的・先進的な保健福祉行政の展開を区には望みたい。
(男性 / 50 歳代)

介護施設はどこも人手不足でした。どこも熱心に対応してくれたので、職員がもっとむくわれるべきだと思います。区としては？ボランティアが気軽にできるようなよびかけ・紹介をしてほしい。(女性 / 50 歳代)

介護保険が高すぎる。強引に年金から引かれる事には不満をいただきます。
(女性 / 65 ~ 69 歳)

今後の費用の増加に対する資金が、個人の負担の増加が心配。(男性 / 70 ~ 74 歳)

国民健康保険料が生活を圧迫しているので減らしてほしい。(女性 / 30 歳代)

中野の保健福祉は全国・全都の中でもだんだん遅れていると感じます。もう少し弱者 (子供・高齢者・障害者、 e t c) に対して優しい行政をお願いします。(女性 / 60 ~ 64 歳)

保健福祉に予算が重点的に割り当ててくれるのはいいが、支出の透明性、支出の決定プロセスの透明性を高めてほしい。税金が何に使われているか、いまひとつわからない。
(男性 / 30 歳代)

消費者の立場・目線での改善を望みます。(女性 / 30 歳代)

歳をとってから、お金が無くても安心して暮らせる制度がほしいと思う。(男性 / 50 歳代)

健康診断・人間ドック e t c、区民が健康でいられるように、区の補助やよびかけ・通知を該当年令者へ積極的に行ってほしいと思います。(男性 / 30 歳代)

一昨年入院し、退院した後、民生委員の方が大変良くして下さい、まだ車椅子でしか外出出来なかった時、いろいろ助けて頂いて感謝しています。(女性 / 70~74 歳)

特定健診・保健指導については、被扶養者の職域・地域の連携がうまくいっていない現状を改善してもらいたい。(男性 / 40 歳代)

中野区の集合契約 B (特定健診・保健指導) の単価が他市区町村に比べてかなり割高になっています。健保も国保も財政状況が悪いのですから、できるだけ単価を下げよう、医師会等に働きかけてもらいたい。(男性 / 40 歳代)

保健福祉というと赤ちゃんから老人まで広い範囲の仕事だと思いますが、そこを必要とする利用者にとって利用しやすいことだけでなく、本当の意味での利用者の事を考えて欲しいと思います。社会全体を変えなくてはならない事なのでとても難しい事だとは思いますが、是非、中野に住みたいと思える様になる事を希望します。(女性 / 30 歳代)

包括支援センターの廃止が検討されているそうですが、是非中止して下さい。
(女性 / 65~69 歳)

保健福祉センターは身近でいろいろ相談できますが、保健師さんが少なく、とてもお忙しいそうです。最近では若い人の精神疾患がとても増えているようで、信頼できる保健師さんがいるととても助かります。是非、保健師さんを増やして下さい。(女性 / 60~64 歳)

< 高齢福祉について > (70 件)

保健福祉行政は、高齢化社会に向けて整備をすすめているところかと思えます。利用者の目線で、解りやすくシンプルな内容にしていきたいと思えます。(女性 / 50 歳代)

特別養護老人ホームなどの施設をもっと沢山つくり、何年も待たないで入れるよう基盤整備を急いでほしい。(男性 / 50 歳代)

老人を対象とする趣味やサークル(講座)の場を多様に、かつ、多く設定してほしい。
(男性 / 50 歳代)

一人暮らしの高齢者が住み慣れた場所で住める様、アパート等を提供してほしい、整備してほしい。(女性 / 65~69 歳)

介護認定を経て、ケアマネージャーによるケアプランの作成、介護事業所からのヘルパー派遣による介護提供、場合によっては精神疾病等がある時には保健所の保健師など、一人の介護利用者に対して何人ものいろいろな場所からの人々がかかわっているわけですが、何よりもそれぞれの連携（正しい情報の交換や事変に対するすみやかな対応など）が大切だと感じています。（女性 / 40 歳代）

地域の高齢者、貧困など何らかの困難をかかえた人に対して、マンツーマンの対応をできるように努力してください。（男性 / 30 歳代）

ヘルパーの仕事をしていただく人・事への感謝が我々の市民の方に出来ているかどうか考えさせられます。勿論、仕事をする方の考え方もあります。双方の教育を充分にして頂けたらと思います。（女性 / 65～69 歳）

区医師会などとの連携で、かかりつけ医制度の推進、ターミナル・在宅ケアの充実など、ハード面だけではないサポートも重要だと思います。（女性 / 50 歳代）

年老いていく中で、健康保険料・介護保険料、及び、自己負担が増える一方、サービスが低下するなどの不安が募ります。老人が安心して暮らせる社会になるよう望みます。（女性 / 70～74 歳）

一人暮らしの老人対策をいろいろ考えてほしい。社会参加の方策、高齢者にも出来ることをしてもらおうなど。（男性 / 70～74 歳）

入所中には予防的な対応は少ないので、区健康診断の「入所・入院中の者の遠慮せよ」でなく、受診させてほしい。（女性 / 85～89 歳）

< 行政全般について > （46 件）

どんな問題でも家庭や地域の方などの話し合いでは、なかなか区長まで声が届かず、一般の声が届く様な場所がほしい。（女性 / 50 歳代）

色々なサービスがあるようだが、土・日にしてください。行政はサービス業です。（女性 / 30 歳代）

職員が 1 年に 1 回か 2 年に 1 回くるくる変わるのはどうしてですか。じっくり取り組めないのではないですか。（女性 / 65～69 歳）

老人・子供に思いやりのある行政にしてほしい。（男性 / 75～79 歳）

行政だけでなく、役所などで使われる言葉が難しくて意味がよくわからない。部署・部門も覚えられない位に長くて親しみを感じない。(女性 / 60~64 歳)

行政の各種サービスが過去に比べて充実して来ている事は実感があり、良い事だと感じている。反面、区の財政を圧迫している事も事実。相反する課題に日々取り組まれている職員の皆様は大変ご苦労と思う。保健福祉行政の拡充と財政のバランスは重要であり、その事について区民に率直に訴える事が今後は必要になるのでは？勇気を持った行政運営を切に期待している。(男性 / 50 歳代)

安心して“イザ”の時に頼れる行政であって欲しいと常日頃思います。中野区内で悲しいニュースが流れる事が無い事を願います。(女性 / 30 歳代)

災害や集団食中毒などの衛生問題、インフルエンザの新型がどうだとか、もちろん対策をしっかりとって欲しいと思います。ぜひ、パニック状態になった時に心強い存在であって下さい。(男性 / 30 歳代)

中野区健康福祉都市宣言。このような言葉が全部実行できるような中野にしてください。(男性 / 75~79 歳)

< 本調査について > (53 件)

実際に座談会などを開催して住民の生の声を聞く方が、より適格な実情を把握できるのではと思う。(女性 / 60~64 歳)

結果は区報などを通じ、できるだけデータを公表して下さい。できれば、ネット上では検定結果もきちんと公表して欲しいと思います。(女性 / 40 歳代)

ごみの出し方のマナーについての調査を希望(マナーが悪い)。(女性 / 30 歳代)

地域の意見を幅広く取り入れようと、積極的に活動されている事が感じられました。これからもがんばって下さい。(女性 / 20 歳代)

調査対象者が病気を持っている人とかの質問があるとよかった。(男性 / 60~64 歳)

今回の様な調査は定期的に行い、今後の為に役立ててください。(男性 / 30 歳代)

失礼ですが、古くさい調査帳票な気がします。マークシート・OCR等、機械的に読み込ませるなどがあると思うのですが。(男性 / 40 歳代)

窓口を訪れた方全員に、このような形の後日送付アンケートを実施してほしいと思います。
(女性 / 30 歳代)

一般的にアンケート調査は調査する事が目標にならない様に、調査する前の目的を真剣に深く考えておかないと、費用努力対効果がありません(期待出来ません)。
(男性 / 60 ~ 64 歳)

問題意識を持って取り組まれていることは、大変良いことだと思います。(男性 / 50 歳代)

紙・ふうとう・手間にお金をかけることが疑問に考えます。このような調査も必要ですが、お金のかからない方法を考えて下さい。(男性 / 75 ~ 79 歳)

訪問や電話と違って空いてる時間にできる事なので、区民の声を聞く方法の一つとして、このようなアンケートをとる事は良い事だと思います。(女性 / 30 歳代)

< 情報提供について > (63 件)

難聴者で補聴器を使ってきくことのできる磁気誘導ループシステムが中野ゼロ大ホールと区議会に設置されていますが、ほとんど知られていないようで、活用されていないのはもったいないのでもっとPRされた方がよいと思います。(女性 / 40 歳代)

区報を読む事で区の情報を得る事が多いので、時には特集を組んで易しく詳しく説明してくれると良いと思います。(女性 / 50 歳代)

広報活動は紙ベースのみではなく、より密接なランダムによる電話訪問、商店街等での定期的な広報イベントをされてはどうか。(男性 / 30 歳代)

HPでもっと関係先をわかりやすく告知・説明、最新情報を載せてもらいたい。「中野区民だより」にもカラー・図等で身近に簡潔にまとめて全体の一覧があれば、実際に使えて便利になると思います。(男性 / 50 歳代)

抗インフルエンザ薬の保有数、感染予想数をグラフなどわかりやすく作ってほしい。
(男性 / 30 歳代)

保健福祉に関する区報特記事・説明特集号を出してほしい。 問題に困った時別の保健福祉センター相談窓口の紹介等々、区報で特集してほしいです。(男性 / 70 ~ 74 歳)

よく分からない部分が多いので、セミナーなどで知る場があると助かる。例えば、年代別・目的別(子育て支援・介護...等)での教室形式だと参加しやすいと思う。(女性 / 30 歳代)

中野専用のインターネット掲示板などがあれば利用したい。(男性 / 20 歳代)

連絡等したい時の為に場所・電話等を簡単にまとめた一覧表を作成して配布してほしい。
(女性 / 70 ~ 74 歳)

高齢な為、いろいろな行政の名称などが解りづらい。覚えきれない。区からのいろいろな通達などが色々重複している様で、かえって解りづらくなっている様に思う。
(女性 / 85 ~ 89 歳)

町中の掲示板や地域の回覧板に読み易い、解りやすい、印刷で、細やかに教えて戴ければ、一人暮らしでも頑張れると思います。(女性 / 70 ~ 74 歳)

いざという時にそなえて、病院mapのようなものがあると、とてもうれしいです。
(女性 / 30 歳代)

< 保健福祉の窓口について > (24 件)

難しい言葉・言い回しが多く、その言葉の説明すら難しい言葉が多くて、全く理解できないことがよくあります。電話で聞こうにも受付時間が短く、結局、解らないままのことが多いです。なので、もう少し簡単な、よく聞く言葉の説明書きをしてもらえると助かります。(女性 / 20 歳代)

区役所などの窓口にいる方は、笑顔も作らずにぶっきらぼうな方が多い。もっと親身に質問しやすい環境を作ってほしい…。わからないから聞いているのに、ぶっきらぼうだったりすると、こちらの方が気を使ってしまう。特に、お年寄りにはあきらめてしまうのではないですか？自分の身に置き変えて考えてみて下さい。(女性 / 50 歳代)

福祉関係の担当者は忙しすぎるのも原因なのかもしれませんが、少しでも待たせないようにという心がけで当たってほしい。長く待たせなくてはならない時は、あと何分ぐらい待てますか、と声をかけていただきたい。(女性 / 70 ~ 74 歳)

フルタイムで仕事をしている人にとって利用できる曜日・時間が限られている為、せっかくの機関の窓口相談が開設されていても利用する事ができないのではないかと。
(女性 / 50 歳代)

相談の包括窓口が1つあれば、まずそこへ...かける事によって他を紹介してもらい、迷う事なく助言してもらえるのでは。(女性 / 50 歳代)

中野区は優秀な方と思いますが、どこも相談の対応が悪い。追い返す姿勢が多く見受けられる。追い返す言葉は多いが、制度の説明が不十分な気がする。(男性 / 40 歳代)

< 調査によってサービスを知る機会になったという意見について > (30 件)

今回の調査をして頂き、区でこれだけの事に力を入れておられる事を知り、中野区に在住して良かったと思うと同時に、何かお手伝いさせて頂く事はないか考えております。又、何かありましたら行政を通して相談できる事がわかり、安心致しました。
(女性 / 50 歳代)

調査で現状を知ろうとする取り組みに感心いたしました。答えてみると、自分としても知らない区のサービスがあることに気づきました。(女性 / 30 歳代)

区の福祉について気にしたことがあまりなかったため、今回の調査で区の取り組みについて、もっと知りたいと感じました。(女性 / 20 歳代)

< 障害福祉について > (7 件)

区の主催する会議や行事に、ほとんど要約筆記(手話のわからない、聞こえない人への文字通訳)がついていないようなので、主催者(区)の責任でつけてほしい。
(女性 / 40 歳代)

障害者に対して応益負担を課していますが、もともと障害者は負担能力がありません。本人が好きで障害者になったわけではありません。生まれつきの人もあります。社会全体として、これからの障害者を暖かく助けてあげるのが基本だと思います。(女性 / 60~64 歳)

< 健康・医療について > (41 件)

成人健診が平成 20 年から後期高齢者健診になり、項目が少なくなりました。大変残念です。成人健診の時はいろいろ検査して頂けたので、結果をみて自分の体の状態を把握する事が出来ましたが、後期高齢者健康診断では安心できず、あとどういう健診をうけたらよいかわかりません。成人健診の時の項目を是非お願いしたいです。(女性 / 85~89 歳)

救急車のお世話になったが、40 分以上病院が見つからなかった。救急車をお願いする前に家族で病院を断られ、最終的に頼ったが、それでも病院に到着したのは呼んでから 1 時間以上かかっていた。それも区内では受け入れてもらえず、他区の病院へ。かかりつけがあっても夜半は対応してもらえず、心配だった。急病者の受け入れの充実を望みます。

(女性 / 20 歳代)

区健康診断について、乳がん・子宮がんは毎年実施してほしい。(女性 / 50 歳代)

成人病検診年 1 度の実務が、以前と変わり簡単に手抜きとなったことは非常に不満(例:レントゲン胸部撮影・心電図、e t c)。主婦には年 1 度だけの成人病検診であり、もっと細部に当たって検診を実行して戴きたいと切望します。(女性 / 75~79 歳)

以前は無料だった健康診断が、現在は費用がかかるので無料にしてほしい。
(女性 / 50 歳代)

<まちづくりについて> (57 件)

自然が豊かな町が心を豊かにすると思うので緑を多くし、人が交流できる場所作りを希望。
(女性 / 30 歳代)

自転車の止め方や歩道の走り方は、とても問題だと思います。高齢者や小さな子供をつれている方々がよくトラブルにまきこまれているのを見かけますが...(女性 / 40 歳代)

飼い犬のふんを処理しない飼い主、入ってはいけない公園に飼い犬を入れる飼い主など、マナーが悪い飼い主がふえています。対策を講じてください。(男性 / 30 歳代)

中野駅周辺が整備されるのなら、保健所や図書館・体育館などを利用しやすい場所に集めて欲しい。新しく作っても交通が不便だったりしては意味がない、行けない。
(男性 / 30 歳代)

高齢になっても元気でいられるよう、子供たちが小さいうちからたくさん身体を動かして、健康づくりができる場所がたくさん欲しいですね。老人を介護するのも子供たちですから。
(女性 / 30 歳代)

(中野) 駅前の歩きたばこの禁止が徹底されていないので、対策をとっていただきたいと思います。(女性 / 40 歳代)

「女性のための健康講座」や「ピロリ菌のすべてを教えます」等の日時が、平日の仕事をしている時間帯に設定されていて利用できない。土・日を日程に入れるとか、時間を 19 時~とか...、一般的な勤務時間帯を考えて開催して頂けると、住民としてももっと区に対して興味・関心が持てるようになる気がする。(女性 / 30 歳代)

< 児童福祉について > (30 件)

福祉という面では高齢者に対してだけでなく、子供達が住み易い街、この街で子供を産んで育てたいと思わせるような街を目指すべきだと思います。(男性 / 40 歳代)

今後、子供を産む事を考えると産婦人科の事や、保育園の問題が気になるところです。それに、小学校を考えても交通量の多いところを通る場所ばかりで、不安に思う事があります。(女性 / 20 歳代)

子供を授かった時について、検診や出産にかかる費用について、その場その場にかかる時に、区から、若しくは、国から援助を受けたい。後から戻ってくるという方法だと、その時に足りない人には少しつらいものがあります。(男性 / 30 歳代)

保育園にしても、民間へ委託される園が増えています。全てを民間に委託し保育時間を延長することが、子供にとって有益なことでしょうか。区として、ここまでは区がやる事、ここは利用する人が努力する事、また、小さい子を持つ親への育児時間の保障などをすべきだと思います。(女性 / 30 歳代)

< 地域活動について > (11 件)

地域活動についてはボランティアの希望が多くなっていますので、周知活動を更に高めたら如何でしょう (特に男性のボランティア)。(男性 / 65 ~ 69 歳)

もっと色々な人と仲良く交流は持ちたいけどその機会もないので、何か活動があれば参加したいです。それに何か活動やイベントがあるなら掲示したりして、もっとわかりやすく教えて欲しいです。(女性 / 20 歳代)

高齢者がそれぞれ交流できたり、他の世代と親睦を深めたりできる場がもっとあって良いのではと思います (西落合児童館は、すばらしいモデルだと思う)。(女性 / 30 歳代)